
蜂類研究手引(21)

(9) ケラトリバチ亜科 (Larrinae)

常 木 勝 次

A Guide to the Study of the Japanese Hymenoptera (21)

(9) Larrinae occurring in Japan and Korea

By K. Tsuneki

生物研究 (福井) 第Ⅷ卷 第4号 61~63頁別刷
Reprinted from The Life Study (Fukui), Vol. Ⅶ, No. 4, pp. 61-63.
December, 1964 ↓

蜂類研究手引 (21)

(9) ケラトリバチ亜科 (Larrinae)

常木 勝次

A Guide to the Study of the Japanese Hymenoptera (21)

(9) Larrinae occurring in Japan and Korea

By K. Tsuneki

In the following the tribes of Larrinae found in eastern Asia are classified as follows:



Of the genera listed above *Miscophus* and *Palarus* occur in Korea only, not in Japan.

米国の Krombein らは同国の Larrinae を Miscophini, Tachytini, Larrini の 3 族に分け、Miscophini の中に *Miscophus*, *Lyroda*, *Nitela* その他を含めている。しかし私は考えを異にするので、上掲のように分類段階を変えてみた (なお米国には *Palarus* はいない)。

Larrinae の蜂は次の特徴によって他の亜科と区別できる。中脚脛節刺は 1 本、後翅の中室は臀室の倍の長さはなくその肘脈は nervellus の先から派生する; 腹部は無柄, 第 1・2 節間に顕著なくくれない; 複眼は正常 (内側に深い切れこみはない), 上唇は小形で突出しない。

種の検索表 (禁転載)

♀ ♂

- 1 単眼は 3 個とも輪廓明瞭..... 2
- 後単眼の輪廓は多少とも不明瞭..... 6
- 2 後単眼は楕円形, 各腹節間はツチスガリのようにくくれる (♀♂とも顕著な尾域があり♀では舌状♂では叉状, 前翅肘室は 3 個, 第 2 室は三角形 (体光沢ある黒色, 白斑をもち脚は赤黄色。♀10~15, ♂7~10 mm, 朝鮮・北支)

Palarus variegatus varius Sickmann, 1895

- 単眼は 3 個とも円形, 腹部は正常..... 3
- 3 前翅肘室は 3 個, 前胸よく発達し正中線に縦稜がある, ♀♂とも尾域があるが♂では弱い, 両眼内縁線は平行, 顔面に特別な凹みはなく, 大顎下縁にえぐれがある (頭部・前胸背・中胸背周辺等に真鍮色の短毛を密生する, 第 1~3 腹節後縁に銀白色の毛帯がある。♀8~12, ♂7~10 mm, 日本 (除北海道)・北支 (新記録)

Lyroda japonica Iwata, 1933

- 前翅の肘室は 2 個または 1 個, 前胸背に縦稜はない..... 4

- 4 前翅の肘室は2個, 第2室は三角形有柄, 前胸背後縁に左右各1個の弧状の横溝があるが次属ほど顕著でない。尾域を欠く, 両眼内縁線はほぼ平行, 上方部でわずかに上方に収斂, 顔面下部に凹みはない (黒色で腹部第1節は赤色, 頭・胸部に明瞭な微小点刻がある。♀6~7, ♂5~6 mm, 朝鮮)

Miscophus tsunekii Andrade, 1960

- 前翅の肘室は1個, 前胸背に左右各1個の弧状の横溝がある, 尾域は欠くか発達が悪い, 両眼内縁線は上方に収斂し顔面下部に顕著な凹みがある, 大顎下面にえぐれない (全身黒色, 頭胸部に金色短毛部はない, 腹部に毛帯もない).....(Genus *Nitela*)..... 5
- 5 頭部・中胸背はなめし革状の微細彫刻, 点刻を欠く, 腹部は無点刻光沢がある, 両眼内縁線は上方に強く収斂し, 単眼の配置は正三角形, OOD:POD=1:4, 中節背は微細縦皺, ♀♂とも尾域を欠く。♀3.3~3.7, ♂2.8~3.5 mm, 本州・九州

ヤスマツニテラ *Nitela yasumatsui* Tsuneki, 1956

- 頭部・中胸背に微小点刻がある, 腹部に光沢はない, 両眼間の距離は頭楯基部と頭頂における比で5:3 (前種では5:2) 単眼は等辺三角形に配置, OOD:POD=1:2, 中節の彫刻はあらい網目, ♀に微弱な尾域の見られることがある。♀4.4~4.6 mm, 九州 (幸島)・本州 (仙台)・北海道 (函館)

オオグシニテラ *Nitela ohgushii* Tsuneki, 1956

- 6 頭頂部に両眼に接して太い縦隆起がある, 中節は中胸より長いか等長.....(Larrini 族)..... 7
- 頭頂部に縦隆起線はない, 中節は中胸より短い.....(Tachytini 族).....12
- 7 大顎内縁に歯を欠く, ♀の尾域は裸出する, ♂では前胸後縁中央の突出部は中胸背の高さにかなり近づいている.....(*Larra* 属)..... 8
- 大顎内縁の基部に近く歯状突起がある, ♀の尾域は剛毛で密に被われる, ♂では前胸背は中胸背よりはるかに低くおし下げられている.....(*Liris* 属)..... 9
- 8 全身黒色, ♂では前脛節は淡褐色。♀12~18, ♂10~15 mm, 本州全域・四国・九州

クロケラトリ *Larra carbonaria erebus* (Smith, 1873)

- 腹部基部に赤帯がある。♀15~18, ♂12~15 mm, 本州中南部・四国・九州

アカオビケラトリ *Larra amplipennis* (Smith, 1873)

- 9 大顎下縁にえぐれない (頭・胸部に金色短毛密生部がある, 中節背は弱いあらい横条, 脚の大部は黄赤色。♀15~22, ♂13~18 mm, 琉球よりアジア南部一帯)

キンイロコオロギバチ *Liris (Liris) aurulenta* (Fabricius, 1787)

- 大顎下縁にえぐれがある.....10
- 10 体に金色短毛密生部が多く, 腹部に同色の3黄帯がある, 中節背は角形網目状, 大顎・脚は黒, 先端部は褐。♀18~22, ♂13~17 mm, 琉球よりインド・セイロンまで

リュウキュウコオロギバチ *Liris (Notogonidea) deplanata* (Kohl, 1883)

- 体に金色短毛密生部はない.....11
- 11 頭・胸部の点刻は極微細でつや消し状, 中節にあらい横しわがある, 翅に黄色味がある。♀12~18 ♂10~13 mm, 本州 (中南部)・四国・九州・琉球

コオロギバチ *Liris (Notogonidea) subtessellata docilis* (Smith, 1873)

- 頭・胸部に肉眼で認められる小点刻が密布する, 中節背は細かい網目状彫刻, 翅に黄色味はほとんどない。♀7~12, ♂6~10 mm, 本州・四国・九州・朝鮮・琉球・北支

ヒメコオロギバチ *Liris (Notogonidea) japonica* (Kohl, 1883)

- 12 後単眼は輪廓やや不明瞭だが大体楕円状, ♀の尾域・♂の腹端節は被毛を欠く.....

-(*Tachysphex* 属).....13
- 後単眼は不正長形, ♀の尾域・♂の腸端節は毛で被われる.....(*Tachytes* 属).....14
- 13 腸部に赤帯がある。♀ 10 mm, 朝鮮
- Tachysphex* sp.*
- 腸部に赤帯を欠き 3 本の銀白毛帯だけある, 頭頂における両眼間の距離は触角第 2・3 節の和にほぼ等しい, 中節の彫刻に変化が多いが近縁の欧州種 *nitidus* より平均してあらい, ♂では特に顕著, ♀ 10~12, ♂ 7~10 mm, 北海道・琉球を含めて日本全土, 朝鮮 (新記録)
- ヌカダカバチ *Tachysphex japonicus* Iwata, 1933
- 14 腹部に通常 2 本, ときに 3 本の銀白毛帯がある, 翅に黄色味が強い, 尾域は♀は黒褐毛, ♂は銀白毛。♀ 18~23, ♂ 15~20 mm, 本州中南部・四国・九州・(琉球?)・北支那・インド
- オオハヤバチ *Tachytes sinensis* Smith, 1856
- 腹部に 4 本の銀白毛帯がある.....15
- 15 脚の大部は赤黄色, 頭・胸部に金色短毛密生部が多い。♀ 12~15, ♂ 11~14 mm, 本州・四国・九州・朝鮮・ビルマ・インド
- アカアジハヤバチ *Tachytes modestus* Smith, 1856
- 脚の大部は黒色.....16
- 16 各脚フ節は淡褐色, 前脛節にも同色部が多い (頭頂における両眼間の距離は♀で触角第 3 節と等長 ♂ではそれよりやや短い, 尾域は♀♂とも黄色味のある銀白色~金色の毛で被われる。) ♀ 14~20, ♂ 12~18 mm, 朝鮮・九州・本州
- ニッポンハヤバチ *Tachytes nipponicus* Tsuneki, 1964
- 各脚のフ節は黒色ないし先方に向って多少褐色がかかる.....17
- 17 頭頂における両眼間の距離は触角第 3 節より短い。♀ 11~13, ♂ 10~12 mm, 朝鮮・九州・四国, 本州
- ヒメハヤバチ *Tachytes fruticis* Tsuneki, 1964
- 頭頂における両眼間の距離は触角第 3 節より長い。♀ 13~16, ♂ 10~13 mm, 北海道・本州
- ヒロツハヤバチ *Tachytes latifrons* Tsuneki, 1964

* *T. nigripennis* Spinola に近線の種である。